

2018年 11月12日(月) - 12月14日(金)

第一会場 慶應義塾図書館展示室 (三田)

9時 - 18時20分 (土曜16時50分) 日・祝・11月22 - 25日休館

第二会場 慶應義塾大学アート・スペース

10時 - 17時 土・日・祝・11月22 - 25日休館

### 参禅山伟笠禅师之像記

初余崇禅场在而室和尚語于統敵野林洞而閏五月十三日降法  
後程室兼該寒温措出一裝帔白自此天端大自五三林参禅山伟笠  
須取記如幸而冠手上使後其見閩人為其所授寫也白刷之如端人  
在福昌号報端之日大在鐸陳得之聖意像故之瞻之則記受衣之風  
富家一夕名中天秋來法施云擇法清苦深之信于复而一旦談誦于部  
光復巡詠速近拜展萬指之談誦私主教即之沐入多其五人云法於可  
標法課之富家思惟吾不見擇以眼如何辨法禪去林云近須表天私  
之末之必得所謀号手文表天長老去久俸龍閣之底與舍留感峰之  
以族之昔之長之云你之所來非難也德感堂先可求水見則念殊十束集  
之學之師懸之在室中后燭於四隅設物查在室中共日之中誦法每一部  
之佛法秘法一淨息望是大政現形轉去室異巾奇狀袖之餘標接老  
求就弟子之列兼之云長師尚存標義不可也指停矣多眼老師社頌

センチユリー文化財団

寄託品展覧会

# 禪僧 の書と書物



料 金 別 納 郵 便

古くから日本では、禅僧の書は「<sup>ぼくせき</sup>墨蹟」と呼ばれ、特に茶の湯の世界で珍重されてきました。字そのものの美しさだけでなく、にじみ出る精神性が高く評価されています。しかし、それは、厳しい禅の修行を経て得られたものだけではなく、地道な読書や漢詩文の創作という、学問・文学の修練のたまものでもあります。この展覧会では、書の作品とともに、その背後にある学問を支えた書物、また彼らの文学作品を集めた書物などを合わせて展示することによって、禅僧の文化的な営みを展望できればと考えています。

## お問い合わせ

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫  
03-5427-1582 <http://www.sido.keio.ac.jp/>



東京都港区三田 2-15-45  
最寄り駅：JR 田町駅、地下鉄三田駅・赤羽橋駅

【主催】 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫、慶應義塾大学アート・センター、慶應義塾図書館

展示解説（ギャラリートーク）参加無料・予約不要

11月28日（水）14:45- / 12月10日（月）13:00- [両日とも図書館展示室集合]

主な出品作品 浙翁如琰墨蹟、環溪惟一墨蹟、高峰原妙頂相、渡唐天神図、宋版『物初臆語』、五山版『春秋経傳集解』、『狂雲集』沖森本ほか

Treasures from Century Cultural Foundation **CALLIGRAPHY AND BOOKS OF ZEN PRIESTS**  
12 NOV. – 14 DEC. 2018, Keio University (Mita) [Library and Keio University Art Space]